有限会社
一ノ瀬金属

Sustainability Report 2025

2025年度 環境経営レポート

PURPOSE ——— わたしたちの存在意義

好循環みなぎる社会を創る

モノ（資源）、ヒト（思いやり）、サービス（事業活動）の好循環。
世の中の様々な要素が好い関係を築き、
循環して社会に広がっていく。
わたしたち一ノ瀬金属は、
そんな巡り巡る好循環の発信を続けていきます。



CONTENTS ——— 目次

経営理念 …… 05
環境経営方針 …… 07
事業概要 …… 09
実績/SDGsへの貢献 …… 11
SDGsへの重点的取り組み …… 13
環境経営目標/実績 …… 15
環境活動計画/実施内容/評価/次年度計画 …… 17
環境関連法規等の遵守状況 …… 23
全体評価 …… 24

対象期間　2025年4月～2026年3月
発行日　2026年7月1日

2024年4月、有限会社一ノ瀬金属は
法人設立50周年を迎えました

MISSION ——— わたしたちの存在意義

地球に目配り
社会に気配り
チームに心配り



思いやりの心と誠実さ。

わたしたちが関わる全ての環境・社会・相手に先回りの想像力、寄り添う心を持ち行動する。

ひとすじの信念を持ち、ひたむきに向き合い、ひと仕事に取り組みます。

VALUE & CREDO ——— わたしたちの行動指針

1K izm

“段取り力”を高める
PLANNING

確実・安全に、一歩先の手順を考え効率的に行動できる力を。

“技術力”を高める
TECHNICAL

自らを磨き向上心を持つ力を。

“団結力”を高める
TEAMWORK

お互いに信頼し、チームとして取り組む力を。

“責任力”を高める
INTEGRITY

課題・問題を自分事として捉え、誠実に向き合う力を。

“自律創造力”を高める
SELF LEADERSHIP

主体性を持ちセルフリーダーシップを発揮し、自らの価値を高める力を。



環境理念

有限会社一ノ瀬金属は、「3R（減量化、再利用、再資源化）への取組＋α1R」の理念の元、当社の主要事業である廃棄物収集運搬業や廃棄物再生事業を通じ、
貴重で有限な資源の再資源化を促進することによって環境負荷の低減に積極的に取り組みます。
また、SDGsの開発目標に寄与する具体的な取組を検討していき、
環境・経済・社会面の課題に貢献できるよう真摯に向き合います。

行動指針

1. 環境関連法規制等、法令を遵守いたします。
2. 環境負荷の低減に取り組むために環境経営を継続的に改善し、以下を重点的・積極的に取り組みます。

（1）電力や、車両等の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
（2）廃棄物の削減
（3）水資源の適正使用による節水
（4）環境保全の為の社会貢献活動
（5）車両での収集運搬時の環境配慮
（6）人材育成

この環境方針を当社全ての従業員に周知します。

令和4年4月21日
有限会社一ノ瀬金属
代表取締役　一ノ瀬眞明

「＋α1R」・・・状況に応じ3Rのみならず、更に1Rの考えを持ち行動する方針



【Refuse】 リフューズ：拒否
【Repair】 リペア：修理
【Refine】 リファイン：分別
【Return】 リターン：返却
【Rebuy】 リバイ：リユース品の購入
【Regeneration】 リジェネレーション：再生品の使用 など

代表メッセージ



平素より当社業務へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
循環型社会は江戸時代、いやそれよりはるか昔から続く日本の伝統であります。
一ノ瀬金属は、その伝統を時代に合わせてさらに高度なものとすべく邁進し、設立から50年を迎えました。
社会の静脈産業として一ノ瀬金属が実現するのは、モノ・ヒト・サービスの好循環。
これからも適正・確実・安心を軸に、一人ひとりが主体的かつ能動的に行動し、
互いに学び合う組織でありつづられるよう尽力してまいります。そして全社一丸となり、
“好循環みなぎる社会”を創りあげる。一ノ瀬金属の挑戦に、どうぞご期待ください。

代表取締役　一ノ瀬 眞明

事業概要

商号	有限会社一ノ瀬金属
代表者	代表取締役　一ノ瀬眞明
所在地	本社・倉庫｜神奈川県藤沢市辻堂神台二丁目6番31号
設立	1974年4月23日
資本金	500万円
売上高	2.9億円（2025年度）
従業員数	本社：5名／廃棄物管理受託部門：11名／計15名（兼務1名）
本社面積	敷地面積：947.94㎡／床面積：323.83㎡
事業内容	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬業、計量証明事業、古物商
収集運搬実績	1,365t/年（2025年度）
処理料金	都度見積（個別に相談致します）
環境管理責任者	取締役 一ノ瀬俊介
連絡先	TEL: 0466-36-5736 FAX: 0466-36-5870
事業年度	4月1日～翌3月31日

許認可

許可区分	許可地区	許可（登録）番号	許可日	有効日
産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物の収集運搬（積替・保管を除く） ＜許可品目＞ 燃え殻、汚泥（※1※2）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（※1※2）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず（※2）、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（※1※2）、鉱さい、がれき類（※1）、ばいじん ※1 石綿含有産業廃棄物を含む ※2 水銀使用製品産業廃棄物を含む	神奈川県	1403007343号	2022年 6月1日	2027年 5月31日
一般廃棄物収集運搬業 一般廃棄物の収集運搬（積替・保管を除く）	藤沢市	藤沢市許可 第1号　2	2026年 4月1日	2028年 3月31日
計量証明事業 質量に係わる計量証明事業	神奈川県	第52号	1987年 10月15日	
古物商		神奈川県公安委員会許可 第452665701010号	1982年 2月4日	
再生資源回収事業者認定（日資連）		N14K-00380号	2024年 3月16日	2027年 3月17日
電子マニフェスト（JWセンター）		2025702	2016年 7月22日	

収集運搬車両一覧

車種	最大積載量	長さ	幅	台数
脱着式コンテナ車 8t	8,000kg	6,260mm	2,240mm	2
脱着式コンテナ車 4t	3,800kg	6,080mm	2,200mm	1
脱着式コンテナ車 3t	3,000kg	4,350mm	1,690mm	1
平ボディー車 8t	6,800kg	7,620mm	2,370mm	2
平ボディー車 4t	2,650kg	7,620mm	2,340mm	1
平ボディー車 2t	2,000kg	4,690mm	1,690mm	1
パッカー車 4t	2,450kg	6,670mm	2,180mm	1
パッカー車 2t	2,000kg	5,210mm	1,850mm	1


脱着式コンテナ車 8t


脱着式コンテナ車4t


脱着式コンテナ車 3t


平ボディー車 8t


パッカー車 4t

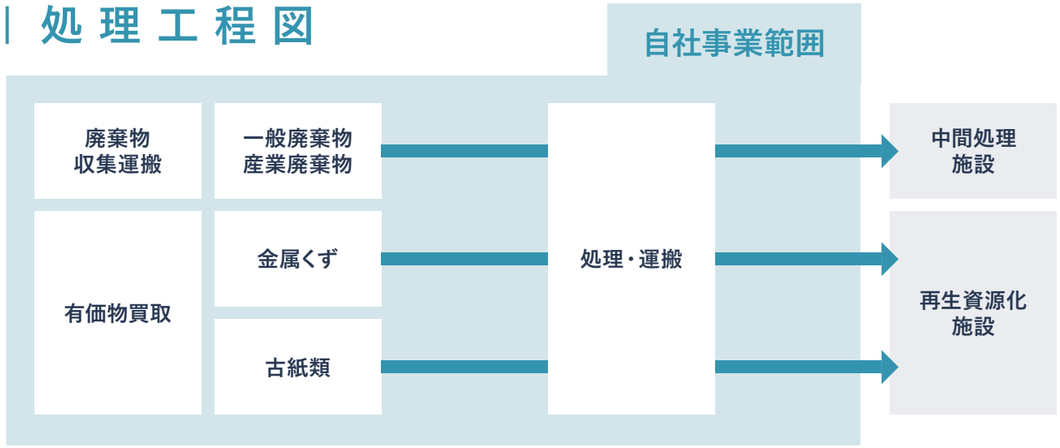

パッカー車 2t

画像は主な車両

その他車両・設備一覧

車種・設備	仕様等	台数
営業車		2
フォークリフト	ヒンジドフォーク 1.5t	4
フォークリフト	全回転パレットフォーククランプ 2.5t	4
トラックスケール	ロードセル式 30t	1
剥線機	処理能力：1,200kg/h	1
磁選機	処理能力：500kg/h	1
切断機	処理能力：1,000kg/h	2
コンテナ	約8㎥	9

処理工程図



有資格者一覧

2026年6月現在

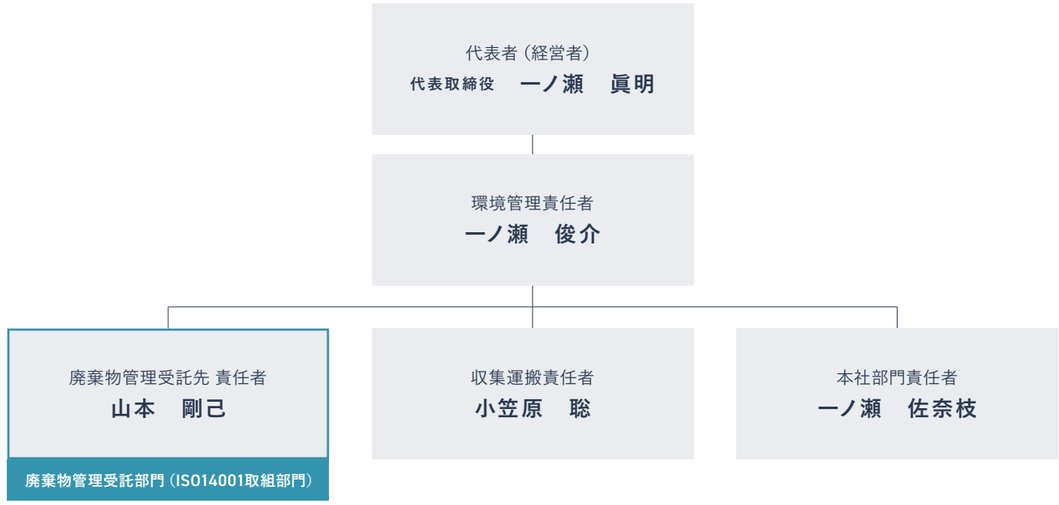
資格名	人数	資格名	人数
大型自動車 運転免許	11人	有機溶剤作業主任者 技能講習	9人
大型特殊自動車 運転免許	9人	酸欠・硫化水素作業主任者 技能講習	1人
中型自動車 運転免許	1人	特化物・四アルキル鉛作業主任者 技能講習	5人
2級ディーゼル・ガソリン自動車 整備士	2人	はい作業主任者 技能講習	6人
危険物取扱者（乙2種）	4人	フルハーネス型墜落制止用器具作業	7人
危険物取扱者（乙4種）	4人	アーク溶接 特別教育	5人
床上操作式クレーン運転 技能講習	4人	電気取扱者 特別教育	3人
小型移動式クレーン運転 技能講習	9人	自由研削砥石 特別教育	5人
玉掛 技能講習	10人	粉じん作業 特別教育	11人
高所作業者運転 技能講習	7人	職長教育	10人
フォークリフト運転 技能講習	12人	安全衛生推進者教育	10人
ショベルローダー等運転 技能講習	1人	車両系荷役運搬機械等作業指揮者教育	10人
車両建設機械（整地・解体）運転 技能講習	6人	積卸し作業指揮者教育	6人
ガス溶接技能講習	5人	化学物質管理者	2人

収集運搬重量 実績（2025年度）

資格名	収集運搬重量
金属くず（再生資源）	1,276.73 t
廃プラスチック類（産業廃棄物）	3.11 t
管理型混合廃棄物（産業廃棄物）	19.71 t
金属くず（産業廃棄物）	35.72 t
木くず	0.48 t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.09 t
事業系一般廃棄物	29.13 t

合計
1,364.97t

環境経営実施体制（2025年度）



役割	責任・権限
代表者	1. 全体統括 2. 経営における課題とチャンスの明確化 3. 環境方針の制定・全従業員への周知 4. 実施体制を構築し、役割、責任および権限を定め全業員に周知する 5. 環境経営システムを運用し、維持するための経営資源を用意する全体の評価と見直し・指示 6. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境経営システムの構築と運用 2. 代表者への実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者 4. 環境活動レポートの作成・公表
部門責任者	1. 自部門に関連する環境活動計画の実施 2. 環境管理責任者への達成状況
全従業員	1. 環境経営システムの教育・訓練への参加 2. 環境活動の推進

※　対象範囲は廃棄物管理受託部門を除いた組織及び活動を対象とする（廃棄物管理受託部門はISO14001取組の一員となっているため）
※　環境活動レポートの対象期間及び発行日は当環境経営レポート目次に記載

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsへの貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsは、政府・企業・自治体、そして私たち一人ひとりが協力し、「誰一人取り残さない」より良い未来を実現するための国際的な行動目標です。
資源を大切にする企業として、廃棄物や再生資源を取り扱う当社・一ノ瀬金属にとって、これらの目標は非常に身近で重要な意義を持ちます。
私たちは、全従業員が一丸となり、目標達成に向けて責任を果たしてまいります。2025年は12ゴールに貢献しています。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減							●				●	●	●				
	ガス使用量の削減							●				●	●	●				
	ガソリン消費量の削減							●				●	●	●				
	軽油消費量の削減							●				●	●	●				
廃棄物削減	一般廃棄物排出量の削減												●					
水使用量削減	水使用量の削減						●						●					
社会貢献活動	本社敷地隣接歩道の清掃														●			
	地域の環境啓発活動の参加														●			●
配慮環境	車両での収集運搬時の環境配慮およびサービスの改善			●	●									●				
日常業務	リサイクル品の分別												●					
	廃棄物の分別												●			●		
	廃棄物塗料の処理			●			●					●	●					
社内体制	自律的教育の受講				●													
	講習受講、資格取得				●													
	安全衛生、健康診断、有給取得			●														
	働きがい、福利厚生、雇用拡大								●									
	再資源化技術革新、生産性向上									●								
	災害対策、防災備蓄													●				
	パートナー連携、発信力強化																	●

一ノ瀬金属のSDGsへの重点的取り組み

SDGs 17のゴールのうち、以下5項目に特に重点的に取り組んでいます。

質の高い教育をみんなに

一ノ瀬金属では主体性を持ち能動的に動ける自律型人材の育成に取り組んでいます。
その一つとして従業員が習得したい テーマを自ら決めて学ぶ「自律的教育訓練制度」を導入しています。
また事業を行う上で「人材は根幹」との考えから資格取得など従業員の成長支援にも力を入れています。



働きがいも経済成長も

一ノ瀬金属は、やりがいや働きがいのある生き生きとした職場環境の構築を目指しています。
従業員誰もが高いレベルで作業ができるため業務を属人化せず、さまざまな業務を行うことで新たな気づきがあり働きがいにつながっています。
またワークライフバランスの充実を図るため、有給休暇取得率100％の実現や地域の福利厚生サービスの利用促進などにも努めています。



住み続けられるまちづくりを

日々の業務では運搬車両やフォークリフトのエコドライブを促進しています。
定期的な燃費把握やエコドライブ教育を行うことでエコドライブへの意識向上を図っています。
また万が一環境事故が起きた場合、迅速に対応できるよう定期的に訓練を実施しています。
湘南の地で50年事業を継続してきた一ノ瀬金属は今後も環境に配慮しながら業務に励んでいます。



つくる責任つかう責任

廃棄物や再生資源を取り扱う一ノ瀬金属では、3R（廃棄物の減量化・再利用・再資源化）を念頭に、貴重で有限な資源を増やし環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。
また適正かつ安全な業務を確実に行い、信頼性のあるサービスの提供をし、顧客の企業価値の向上につなげています。



気候変動に具体的な対策を

近年では全国各地で自然災害が頻発し甚大な被害が発生しています。
一ノ瀬金属では緊急時に備えた事業継続計画を策定し、計画に基づいた緊急時訓練を実施しています。
また環境マネジメントシステム（エコアクション21）に取り組み、数値目標を立て二酸化炭素排出量の削減にも積極的に貢献しています。



環境経営目標

	環境経営目標項目	推進責任者	単位 CO2換算係数	基準値 2016～2018年度平均	年度目標 2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	一ノ瀬（眞）	kwh（0.462）	3,300	2,937 基準値比 -11%	2,871 基準値比 -13%	2,805 基準値比 -15%
	ガス使用量の削減	一ノ瀬（佐）	kg（3.06415）	16 2017年度	16 基準値比 ±0%	16 基準値比 ±0%	16 基準値比 ±0%
	ガソリン消費量の削減（営業車）	小笠原	ℓ（2.32166）	338	328 基準値比 -3%	325 基準値比 -4%	321 基準値比 -5%
	軽油消費量の削減（トラック等）		ℓ（2.62434）	13,620	燃料消費量の把握		
	収集運搬車両の二酸化炭素排出量	一ノ瀬（俊）	kg-CO2	35,744	二酸化炭素排出量の把握		
	収集運搬重量の把握		t	2,008	収集運搬量の把握		
	収集運搬量当たりの二酸化炭素排出量の削減		CO2/t	17.80	15.84 基準値比 -11%	15.49 基準値比 -13%	15.13 基準値比 -15%
	二酸化炭素排出量総計		kg-CO2	23,232.5 2020～2021年度平均	22,303 基準値比 -4%	22,071 基準値比 -5%	21,839 基準値比 -6%
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の削減（再生資源物は除く）	一ノ瀬（眞）	kg	57 2017年度	51 基準値比 -11%	50 基準値比 -13%	48 基準値比 -15%
	再生資源物排出量の把握		kg	92 2017年度	排出量の把握		
	産業廃棄物排出量の削減		kg	0	排出量の把握・適正処理		
	水使用量の削減	一ノ瀬（俊）	㎥	61 2020年度	58 基準値比 -5%	57 基準値比 -6%	57 基準値比 -7%
社会貢献活動	本社敷地隣接歩道の清掃	一ノ瀬（眞）	実施回数	1回/就業日	1回/就業日		
	地域の環境啓発活動の参加		実施回数	1回以上/年	1回以上/年		
環境配慮	車両での収集運搬時の環境配慮	一ノ瀬（俊）	実施回数	2項目以上/年	2項目以上/年		

環境経営目標の実績

	環境経営目標項目	単位 CO2換算係数	基準値 2016～2018年度平均	2025年度目標	2025年度実績	評価
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	kwh（0.462）	3,300	2,937 基準値比 -11%	2,307	○
	ガス使用量の削減	kg（3.06415）	16 2017年度	16 基準値比 ±0%	3.70	○
	ガソリン消費量の削減（営業車）	ℓ（2.32166）	338	327.8 基準値比 -3%	376.7	×
	軽油消費量の削減（トラック等）	ℓ（2.62434）	13,620	燃料消費量の把握	5,787	○
	収集運搬車両の二酸化炭素排出量	kg-CO2	35,744	二酸化炭素排出量の把握	15,188	○
	収集運搬重量の把握	t	2,008	収集運搬量の把握	1,365	○
	収集運搬量当たりの二酸化炭素排出量の削減	CO2/t	17.80	15.84 基準値比 -11%	11.13	○
	二酸化炭素排出量総計	kg-CO2	23,232.5 2020～2021年度平均	22,303 基準値比 -4%	17,140	○
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の削減（再生資源物は除く）	kg	57 2017年度	51 基準値比 -11%	35.9	○
	再生資源物排出量の把握	kg	92 2017年度	排出量の把握	94.5	○
	産業廃棄物排出量の削減	kg	0	排出量の把握・適正処理	12	○
	水使用量の削減	㎥	61 2020年度	58 基準値比 -5%	52.0	○
社会貢献活動	本社敷地隣接歩道の清掃	実施回数	1回/就業日	1回/就業日	1回/就業日	○
	地域の環境啓発活動の参加	実施回数	1回以上/年	1回以上/年	0回以上/年	×
環境配慮	車両での収集運搬時の環境配慮	実施回数	2項目以上/年	2項目以上/年	2項目以上/年	○

※1　電力使用量の二酸化炭素排出係数は、2017年度の電気事業者別実排出係数の東京電力（株）排出係数0.462kg-CO2を用いた。
※2　化学物質の使用はありません。

環境活動計画/実施内容/評価/次年度計画

電力使用量の削減

目標	電力使用量削減 -11%
達成率	127%
評価	○

取組内容

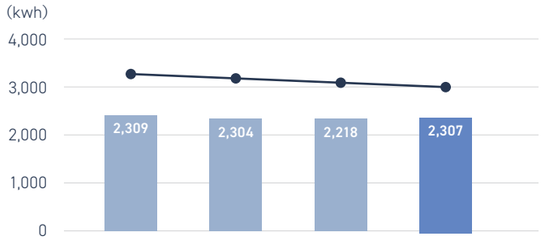
・昼休み・不在時の消灯（点検表による管理）
・空調機温度の適温化（推奨温度の掲示）
・パソコン未使用時の電源OFF
・業務用空調機の定期点検

取組結果の評価

昨年比で電力使用量は微増であった。
月ごとでは目標未達の月もあったが、過度な空調使用を抑え、年間では目標を達成した。

次年度の環境経営計画

今年度取り組んだ内容を継続しつつ、設備の更新などを実施し、電力の使用量の削減を行っていきたい。




LED化（昼休み・不在時は消灯）


空調の適温化

ガス使用量の削減

目標	ガス使用量削減 ±0%
達成率	432%
評価	○

取組内容

・ 夏場の使用を控える
・ 注意喚起表示

取組結果の評価

主に冬場の給湯時に使用するため使用量が少ないが、給湯温度の調整や節水に取り組んだ。
従業員数の増加に伴い、昨年度比でガス使用量は増えたが、目標に対しては大幅な達成となった。

次年度の環境経営計画

気候によって左右されたり、数値的な削減の限界値にはきてはいるが引き続き活動し、削減に取り組んでいきたい。



節水・給湯温度調整表示

ガソリン消費量の削減

目標	ガソリン消費量削減 -3%
達成率	87%
評価	×

取組内容

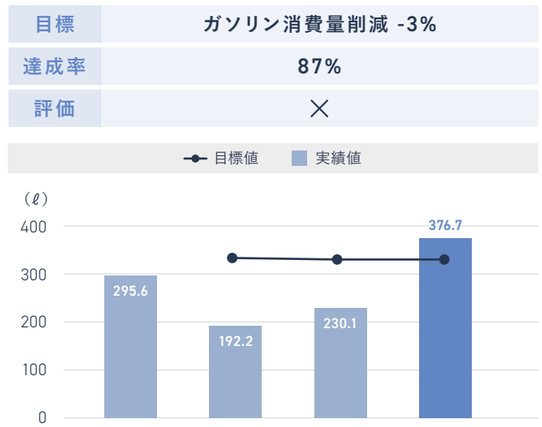
・ エコドライブの推進
・ 車両の空調適正使用
・ エコドライブ推進員によるエコドライブの促進

取組結果の評価

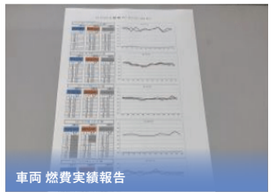
営業車が１台から２台に増加したため、目標未達となった。
エコドライブ推進員による燃費実績の報告やエコドライブ促進ポスターを掲示しエコドライブを推進した。

次年度の環境経営計画

外部講師を招いてエコドライブ講習を実施し、ドライバーのエコドライブ実施を推進していく。




エコドライブ促進ポスター


車両 燃費実績報告

軽油消費量の削減

目標	軽油消費量の把握
達成率	100%
評価	○

取組内容

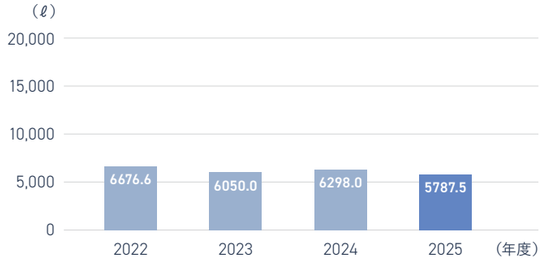
・ エコドライブの推進
・ 車両の空調適正使用
・ エコドライブ推進員によるエコドライブの促進

取組結果の評価

消費量は昨年度より減少し、目標達成できた。
エコドライブ推進員による燃費実績の報告とともにエコドライブを行うための方法などを教育した。
昨年度同様、夏期の過度な空調使用を控える等、削減に取り組んだ。

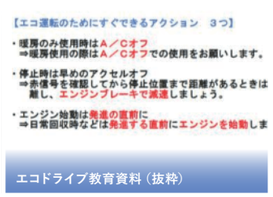
次年度の環境経営計画

外部講師を招いてエコドライブ講習を実施し、
ドライバーのエコドライブ実施を推進していく。





車両 空調適正使用表示



エコドライブ教育資料（抜粋）

運搬量当たりの二酸化炭素排出量の削減

目標	二酸化炭素排出量の削減 -11%
達成率	142%
評価	○

取組内容

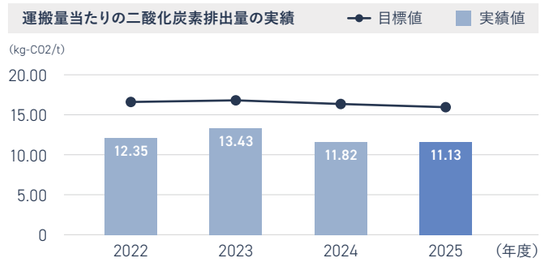
・ 収集運搬量当たりの二酸化炭素排出量の削減
・ 収集運搬量の把握

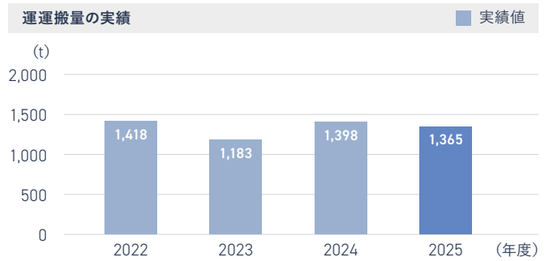
取組結果の評価

今年度の目標値は基準値－11％に引き上げ取り組んだ。
昨年度比で収集運搬量当たりの排出量が減少となり、目標達成できた。

次年度の環境経営計画

継続して更なる改善を進めていくが、数値目標は現状の取扱量に合わせていく。
重量物の運搬時もエコドライブならびに安全運転を行い積極的に削減に取り組んでいく。





二酸化炭素総排出量の削減

目標	二酸化炭素総排出量の削減 -4%
達成率	130%
評価	○

取組内容

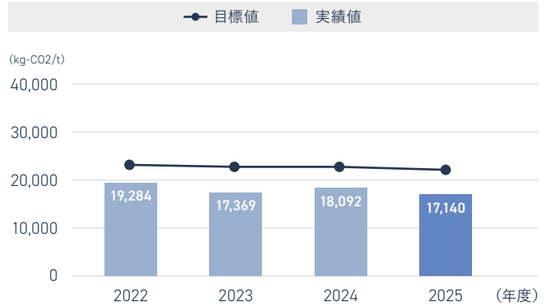
・ 二酸化炭素総排出量の把握
・ 二酸化炭素総排出量の削減

取組結果の評価

今年度の目標値は基準値－４％に引き上げ取り組んだ。
昨年度比で二酸化炭素総排出量は減少となり目標達成できた。

次年度の環境経営計画

活動内容としては継続して取り組んでいく。
設定した中長期目標を継続し削減に努めていく。



廃棄物の削減

目標	一般廃棄物・産業廃棄物の削減、再生資源物排出量の把握
達成率	142%
評価	○

取組内容

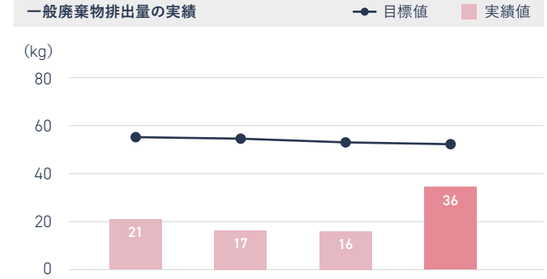
・ 分別徹底による資源物の増加
・ プレビュー確認による印刷ミス削減
・ 電子データ化による紙使用量の削減
・ 排出量の把握
・ 適正処理

取組結果の評価

今年度は事務所整理等で不燃物排出があり、昨年度と比較すると排出量は増加しているが、年間目標は達成できた。
これまで実施していた作業日報や回覧文書の電子化、FAXのペーパーレス受信に加え、今年度から運搬日報の電子化も実施し、さらなる紙使用量の削減に取り組んだ。

次年度の環境経営計画

廃棄物は印刷紙が占める割合が大きい。
文書の電子化をさらに推し進めていく。




ごみの適正分別


タブレット端末を用いた作業日報報告

水使用量の削減

目標	水使用量削減 -5%
達成率	112%
評価	○

取組内容

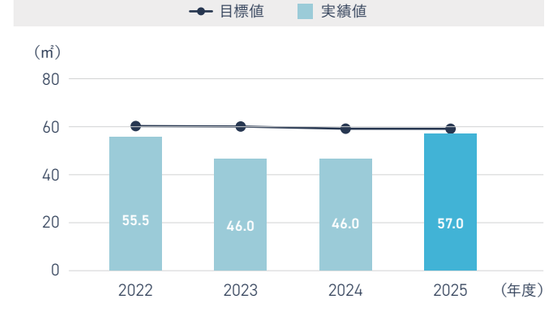
・ 節水（節水表示）
・ 高圧洗浄機による洗車時の節水

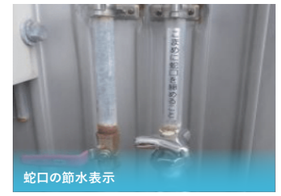
取組結果の評価

従業員数の増加に伴い、水使用量は増加となったが目標は例年通り達成できた。

次年度の環境経営計画

現状の衛生対策を行いつつ日常の水使用の節水を心がけ継続して取り組んでいきたい。




蛇口の節水表示

環境活動計画/実施内容/評価/次年度計画

社会貢献活動

目標	敷地隣接歩道の清掃、 地域環境啓発活動の参加
評価	×

取組内容

- 敷地隣接歩道の清掃
- 地域環境啓発活動の参加
- 献血への協力
- 献血への協力


敷地隣接歩道の清掃

取組結果の評価

敷地隣接歩道の清掃

本社敷地に隣接している歩道を就業日毎、清掃しています。
また駐車場も定期的に清掃しております。
歩行者・自転車の往来が多いので注意して作業いたしました。

地域環境啓発活動の参加（今年は雨天中止）

毎年参加しているクリーンキャンペーンは雨天のため中止となり、
今年度は不参加となりました。
来年度以降も開催された場合は積極的に参加していきます。

献血への協力

2024年度に引き続き、2年連続で大相撲藤沢場所実行委員会主催の献血キャンペーンに従業員およびその家族が参加しました。
献血協力者は年々減少傾向が続いているとのことですので、
引き続き協力していく方針です。


クリーンキャンペーンの参加

次年度の環境経営計画

今年度同様、環境啓発活動や社会貢献活動に可能なかぎり積極的に参加していきます。


献血への協力

環境配慮

目標	車両収集運搬時の環境配慮 及びサービスの改善
評価	○

取組内容

- 安全運転に関する講習
- 収集運搬時の事故対応教育の実施


安全運転に関する講習の様子

取組結果の評価

安全運転に関する講習

安全運転管理者講習の内容を基に安全運転教育を行った。
全国および神奈川県内の交通事故死者数を周知し、注意喚起および安全運転意識の向上を図った。

収集運搬時の事故対応教育の実施

昨年に引き続き、収集運搬時の事故対応教育を行った。
交通事故と車両事故（落下・火災）に対応する手順書を読み、全社員に周知した。
また手順書を基に事故発生時対応の実地教育を行い、安全意識の向上と緊急時の対応能力の向上を図った。


事故発生時対応 実地教育の様子

次年度の環境経営計画

今年度の講習内容を生かし運転技術や安全意識を向上させていきます。
年々教育を充実させ、全社員のレベルアップを図ってまいります。

コミュニケーション

取組内容

- 家族参加のBBQ
- 社内レクリエーションの開催


事故発生時対応 実地教育の様子

取組結果の評価

家族参加のBBQ

社内のコミュニケーションを深めるため、従業員の家族も参加するBBQを毎年秋頃に実施しています。
今後も社内環境をより良くしてまいります。

社内レクリエーション

今年度、新たに社内でのレクリエーションを実施しました。
従業員の家族も参加し、ビンゴゲームやパッカー車への落書き体験など様々な催しを通じて交流を図りました。


社内レクリエーションの様子

次年度の環境経営計画

今年度同様、レクリエーションなどを通じて積極的にコミュニケーションをはかり、働きやすい社内環境を構築してまいります。

環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規は下記のとおりです。環境関連法規の遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。
また、関係機関からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟はこれまでありませんでした。
遵守状況の確認は２０２５年１０月２４日に環境管理責任者とともに行った。

	環境関連法規等名称	当社該当事項	遵守状況
廃棄物	廃棄物処理法（産業廃棄物の処理）	産業廃棄物の処理委託	○
	廃棄物処理法（産業廃棄物の収集運搬）	産業廃棄物の収集運搬業	○
	廃棄物処理法（廃棄物再生事業者登録）	廃棄物の再生事業	○
	廃棄物処理法（一般廃棄物の処理）	一般廃棄物の処理委託	○
	廃棄物処理法（一般廃棄物の収集運搬）	一般廃棄物の収集運搬業	○
	藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（一般廃棄物の排出）	一般廃棄物の処理	○
	藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（一般廃棄物の収集運搬）	一般廃棄物の収集運搬業	○
資源循環	家電リサイクル法	家電4品目の適正処分	○
	小型家電リサイクル法	小型家電リサイクル品の適正処分	○
	循環型社会形成推進基本法	循環資源のリサイクル	○
	資源有効利用促進法	3Rの促進	○
	自動車リサイクル法	自治体に登録された引取業者への廃車の引渡し	○
大気汚染	自動車NOx・PM法	自動車排出ガスの抑制	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	自動車排出ガスの抑制	○
環境配慮	グリーン購入法	グリーン購入法適合商品の購入	○
温暖化防止	フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理	○

確認日 2025年10月24日（環境管理責任者）

代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営方針	変更なし。経営理念と連動し継続して環境活動に取り組む。
環境経営目標	変更なし。私たちができる社会貢献活動をより充実させていく。
環境経営実施体制	変更なし。
環境活動計画	恒常化し有効性がある取組は継続させるが項目によっては更なるステップアップした取組ができる余地がある。 全社員での環境意識の向上を推進させていく。
環境経営システム	従来のマネジメントシステムは機能している。この運用を維持しつつ長期ビジョンでサステナビリティ経営を模索していく。

代表者メッセージ

2025年度は「次の50年」へ向けて本格的に歩みを進めた一年となりました。この一年で従業員数も増え、社員一人ひとりが力を発揮できる体制づくりに取り組んでまいりました。

環境面では、電力使用量やガスの使用量、水使用量、二酸化炭素排出量など、多くの項目で目標を達成することができました。
特に運搬量あたりの二酸化炭素排出量は前年よりも減少し、着実な改善が見られています。
一方で、営業車両の増加に伴いガソリン消費量は目標に届かず、また悪天候により地域清掃活動への参加が叶わなかった年でもありました。すべてを計画通りに進めることはできませんでしたが、こうした反省点も次年度の取り組みに活かしてまいります。来年度は外部講師を招いたエコドライブ講習を実施するなど、新しい取り組みにも挑戦していきます。

社内では、新たに社内レクリエーションを企画し、従業員のご家族にも参加いただきながら交流を深める機会を持てたことも、今年度ならではの成果でした。
私たちが掲げる経営理念「地球に目配り　社会に気配り　チームに心配り」は、日々の仕事の中で自然と行動に表れてくるものだと思っています。環境や社会、関わるすべての人に配慮する気持ちを大切にしながら、「適正・確実・安全」を基本に、信頼されるサービスを提供し続けていきます。

そして、「好循環みなぎる社会を創る」という想いを胸に、これからも社員一人ひとりが自ら考え、行動し、互いに学び合える組織を目指して、持続可能な未来に向けた取り組みを続けてまいります。

